

1 事業の成果

平成 25 年 9 月に全国町並みゼミ倉敷大会を開催した。本年度の前期は大会の準備を進め、後期は大会の整理と次年度への準備の一年であった。

本来事業では事務所を交流拠点としての利用が進み、町家体験施設の運営も順調に進めた。トヨタ財団の支援を受け「Kurashikimaps プロジェクト」を引き続き実施、古地図や写真などの資料を基に、携帯やタブレットでの利用のためのアプリ開発に協力した。

東日本支援の活動も継続した、3.11 キャンドルのプロジェクトを実施、昨年より多くの賛同者を得て、被災地への奨学金を送った。「まちにあかりを灯す」プロジェクトが日本ユネスコ協会連盟「プロジェクト未来遺産」に選定登録された。

全国町並みゼミ倉敷大会を開催することで、全国の町並み保存団体との交流・情報交換などを通じて、ネットワークの形成と町並み保存事業の進展が図れた。また備中地域町並み保全・活性化会議に参加し、備中地域の町並み保全団体との情報交換や地域への視察見学会などを通して、ネットワーク化を進め、来年度の「備中町並みゼミ」開催に向けて実行委員会準備会を立ち上げた。

一方、未利用町家の活用、町家データベースの利活用など本来事業は十分進まなかった。

1) 組織の認知と組織への参加促進

- ・ホームページ、ブログなど情報発信・メールマガジン・メディアでの発信
- ・フォーラム、シンポジウムのパネリスト参加、各種まちづくり委員会委員への参加
- ・講演会、展覧会などでのパネル展示

2) まちづくり活動の企画、協力、連携など

- ・まち歩きなどの企画・各種フォーラム、講演会、協議会に参加し、発表、後援
- ・**Kurashikimaps プロジェクト**、GREENDAYSCOLLEGE 参加

3) 地域資産の活用と町家体験宿泊事業および家屋調査事業

- ・中心市街地歴史的建造物調査
- ・倉敷市東町 1-21 事務所裏蔵の改修
- ・倉敷市東町 1-23 の借用、掃除と改修

5) 各種団体の視察受け入れ（全国のまちづくり団体、大学、行政からの視察）

6) 各種団体への参加

- ・**第 36 回全国町並みゼミ倉敷大会実行委員会、備中地域町並み保全活性化会議**
- ・中心市街地活性化協議会、岡山 NPO センター団体会員、DONATION くらしき
- ・東学区コミュニティ協議会まちづくり特別部会、東学区社会福祉協議会
- ・全国町並み保存連盟・作事組全国連絡協議会

7) 事務局・毎週土曜日開所（10：00～16：00）

*総会：5月25日（土）10：00～12：00 場所：倉敷市民会館第4会議室

*理事会：平成 25 年 4 月 5 日、5 月 10 日、6 月 7 日、7 月 5 日、8 月 2 日、9 月 6 日、10 月 4 日、11 月 1 日、12 月 6 日、平成 26 年 1 月 10 日、2 月 7 日、3 月 7 日

●活動

・第 36 回全国町並みゼミ倉敷大会実行委員会参加

9 月 20 日～22 日：全国町並みゼミ倉敷大会開催 650 名、延べ 1300 参加
（第 2 分科会担当）

- ・倉敷町家トラスト事務所の利活用（毎月第一金曜日定例理事会、東町町内会役員会、東町町家婦人の会、倉敷友の会、みちのくカフェ、マンマカフェ、千屋っ子朝市、倉敷未来機構、倉敷伝建地区をまもりそだてる会、各種 NPO 団体の会議など、**蔵の改修**）

- ・**Kurashikimaps プロジェクト（情報提供、まち歩き実施）**、**県立倉敷南高等学校町衆プロジェクト**
- ・DONATION くらしき参加（東日本大震災避難者支援、3.11 キャンドルプロジェクト、130 万円寄付）

●会員数（平成 26 年 3 月 31 日現在：339 人、34 社）

（内訳：正会員 66 人、法人賛助会員：34 社、賛助会員 123 人、準会員 150 人、）

●御坂の家運営

- ・利用日数 69 日（滞在 68 日、貸室 0 日、トラストイベント利用 1 日）
- ・利用人数 200 名以上（滞在 131 名、その他見学 80 名以上）

●表彰・日本ユネスコ協会連盟「プロジェクト未来遺産」登録選定

●委員・くらしき町家賞選考委員（永井理事）、倉敷芸科大学外部諮問委員会（中村代表）

●取材、新聞雑誌掲載

*TV：KCT、たまテレ

*ラジオ：FM くらしき、RSK

*新聞：山陽新聞、毎日新聞、産経新聞、読売新聞、リビング新聞、その他

*各種雑誌取材（事業構想など）と掲載、倉敷観光WEB